

怯える人々

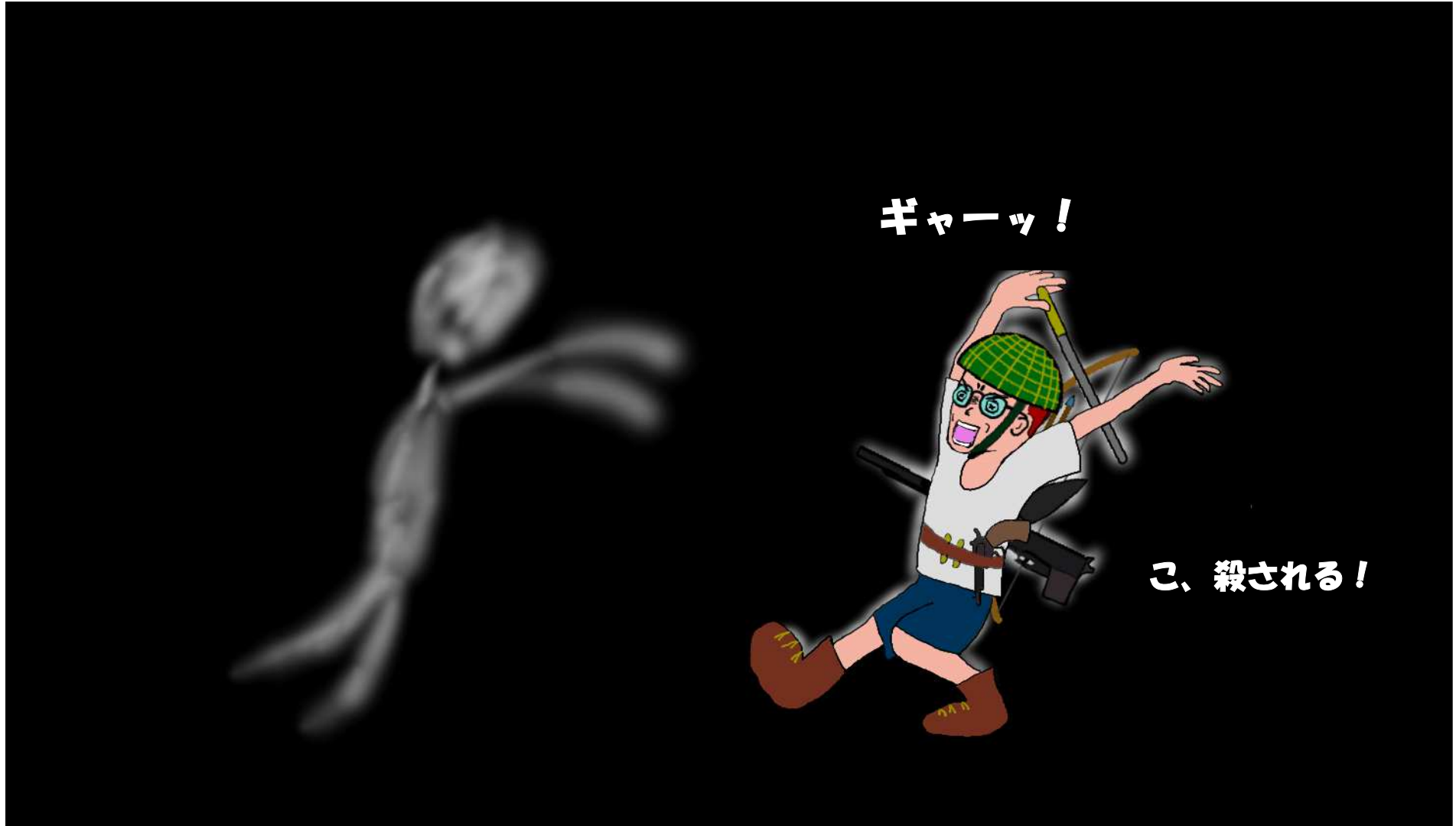


東郷 潤

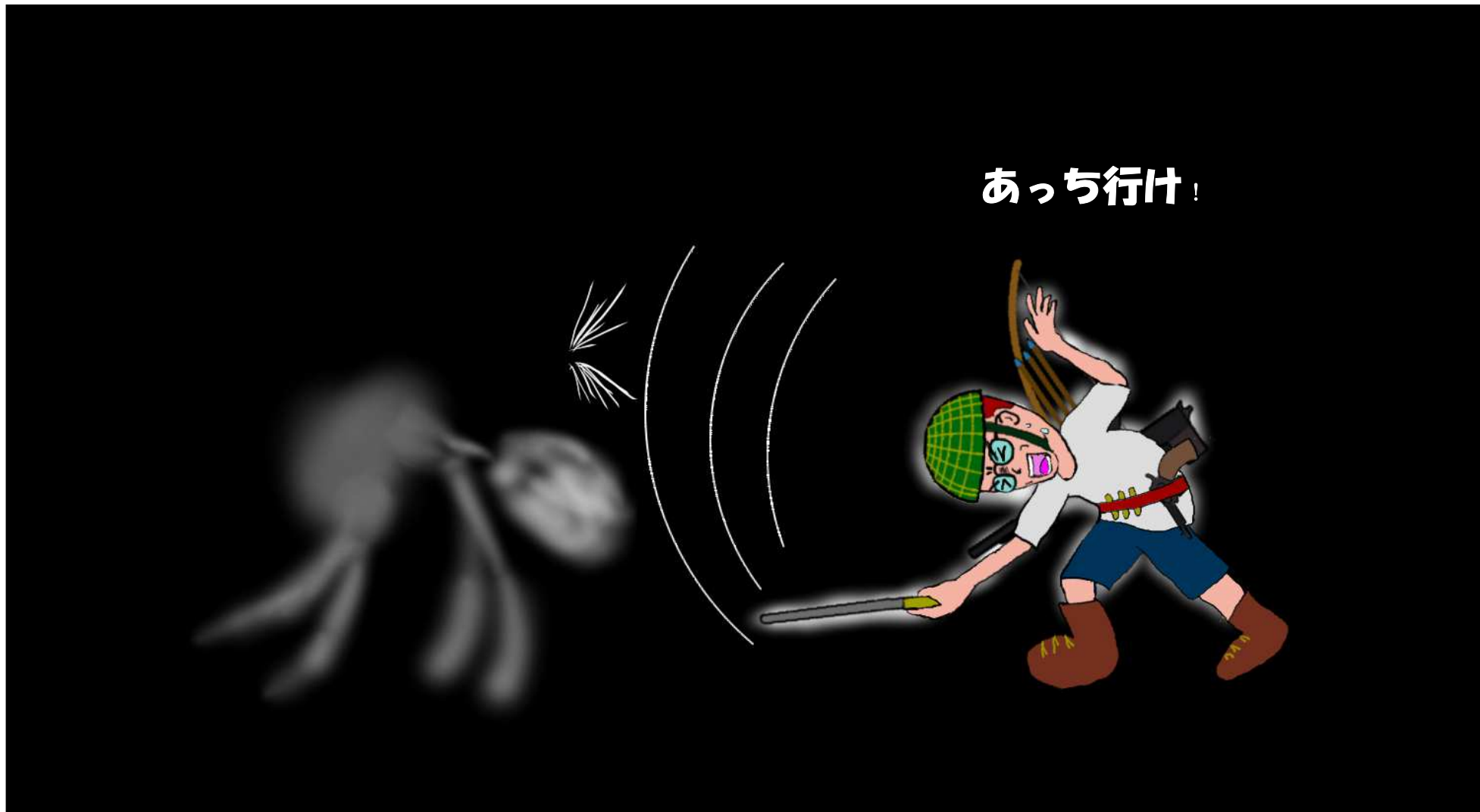
あるところに、いつも怯えている人がいました。彼が歩いているのは、真っ暗な闇の中です。怖くて怖くてたまりません。闇から何が飛び出してくるでしょう？



あ！ 突然、何か白い物が目の前に。きっとお化けです！！



思いっきり棒を振り回しました。

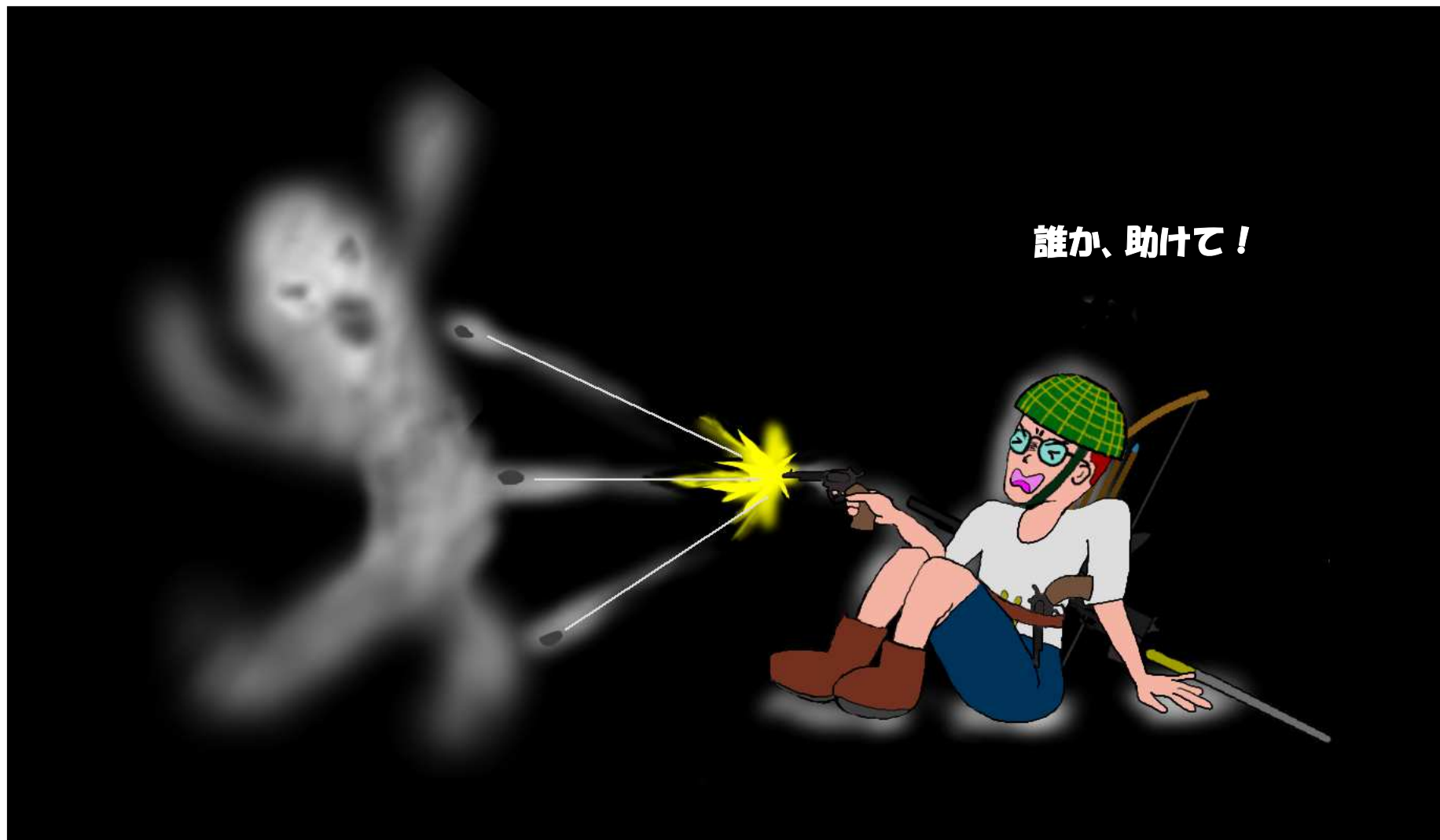


再び歩き始めました。

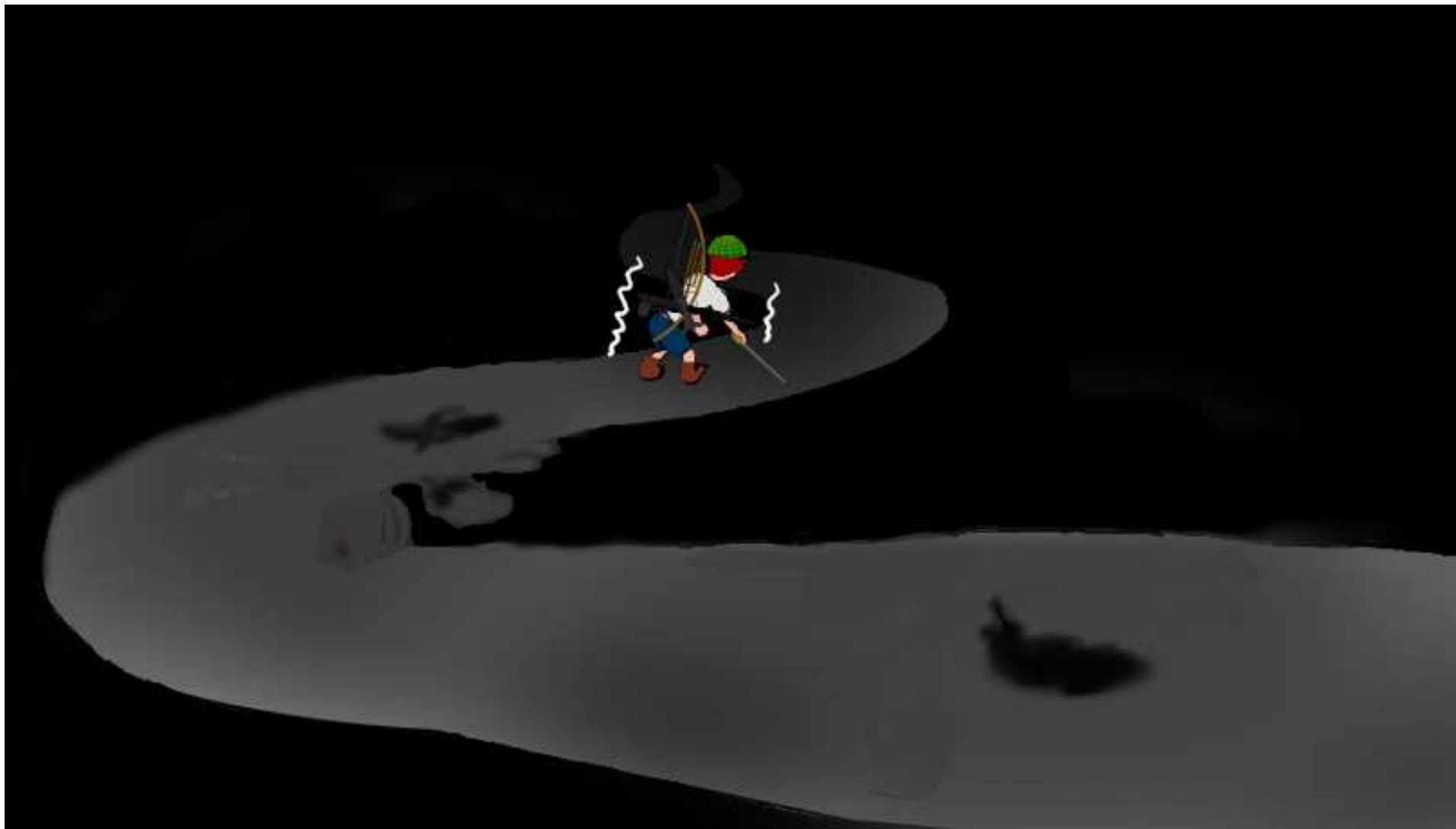
するとまた突然何かが目の前に。お化けでしょうか、それとも怪物？



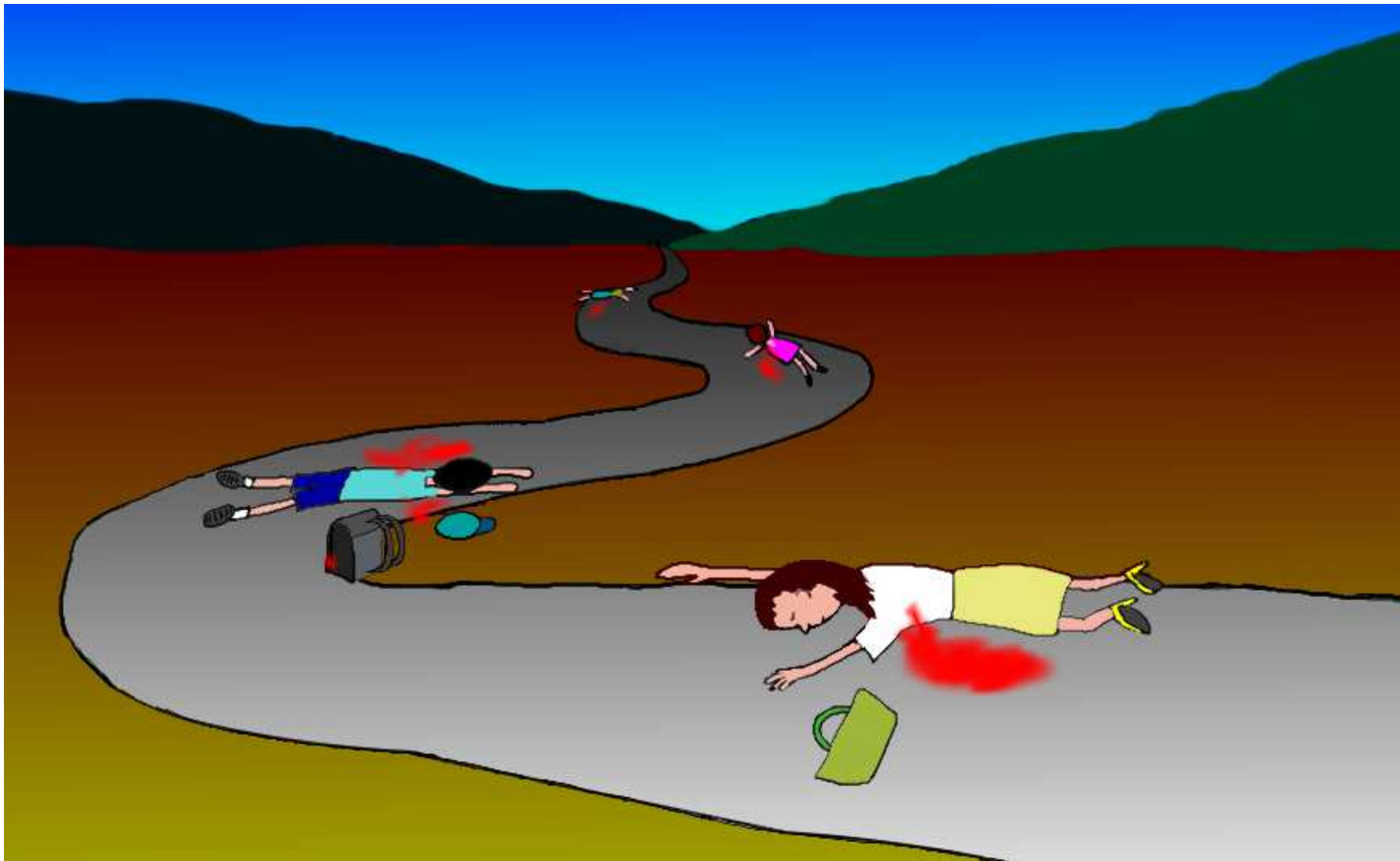
思いっきり、拳銃を撃ちました。



こうして、彼は闇の中を怯えながら、必死で歩き続けました。



翌朝、彼が通った道には、大勢の人々の死体が転がっていました。



世界には狂暴な人って、たくさんいるけれど…
みんな、怯えているのかな？



あとがき ー絵本「怯える人々」

もし、人々の怯えを測る測定器があったなら、と考えることがあります。

世界の人々は、どれほどの恐怖を抱えて生きているのでしょうか？ そして、この恐怖がどれほどの悲劇の原因となっているのでしょうか？ 本絵本はそうした悲劇を地球上から減らしていくことを目的に、執筆したものです。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2009